



2015 -2016 年度

国際ロータリー会長：K. R. ラビンドラン「世界へのプレゼントになろう」

第2560地区ガバナー：山本 和則「夢 (gift) を明日へ繋げよう」

三条北ロータリークラブテーマ「ロータリーの輪を広げよう」

会長：外山 晴一

幹事：渋谷 義徳

SAA：石川 一昭

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテル TEL34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP：<http://www.sajo-nrc.org>

AD：north@sanjo-nrc.org

本日の行事：「移動職場見学例会」

◆本日の出席：66名中37名

(内記帳受付16名)

◆先々週の出席率：65名中54名81.82%

(前年同期73.53%)

◆先週のメイクアップ

9月10日加茂RC 中條耕二

12日第四分区IM

石川友意、石丸 進、大野新吉

岡田 健、小林繁男、斎藤 正

笹原壯玄、佐藤秀一、武田恒夫

外山晴一、中條耕二、梨木篤史

西村 護、羽賀一真、早川瀧雄

馬場直次郎、坂内康男、星野義

本間建雄美、松山浩仁、森 宏

山中 正、吉田文彦

14日三条南RC 石黒隆夫

斎藤良行、笹原壯玄、山崎 勲

◆本日の記帳受付（敬称略）

三条RC 石橋育於、野地貞儀、中村和彦

中林順一、小越憲泰、杉山幸栄

阿部吉弘、山田富義

加藤紋次郎、衛藤泰男

三条南RC 田代徳太郎、西巻克郎

大林培男、太田義人

佐々木常行、長谷美津明

三条東RC 古澤秀夫、小林昭雄

会長挨拶：外山晴一会長



9月15日、16日は大変素晴らしい秋晴れの中での職場見学旅行となりました。

日銀はご存知のようにお金を発行し国の金融政策を決める日本の中央銀行です。そこを見学できることは大変興味深いものでした。地下の大金庫の見学は007の映画場面を見ているようで、とりわけ印象深かったです。その後の相撲観戦は横綱白鵬がこの日、急遽休場ということになり、日馬富士と合わせ横綱二人が休場で残念でしたが、ただ一人横綱で頑張っていた鶴竜が嘉風に破れ、テレビでおなじみの座布団投げを初体験出来て大変面白かったです。観戦後は国技館近くの美人女将がいるちゃんこ料理屋さんで大に盛り上がりました。翌日のゴルフは、瀏岡さんの肝いりで東京オリンピックのゴルフコースとなった名門霞が関カンツリークラブでした。ハーフ1時間50分で回るのがこのクラブのルールということですので、三条北ロータリークラブの名前に恥じないマナーを守ったファストプレイをして大に楽しみました。また、観光組の長瀬ライン下りはこの度の関東を襲った豪雨により前日まで中止でしたがこの日から再開ということでラッキーでした。このような盛りだくさんな内容の旅行を設定していただいた職業奉仕委員会の岡田委員長はじめ委員の皆様にお礼申し上げます。

◆旅程表

日にち	スケジュール	食事
9/15 (火)	*途中休憩を取りながら 三条 <— 高速道 —> *ご昼食:車中お弁当をご用意いたします 8:15 *本店見学 *お弁当・飲物・焼鳥・おつまみ・お土産付 日本銀行 <— 両国国技館【マス席にて大相撲観戦】… 13:20 14:30 14:50頃 18:30 ……ちゃんこ巴湯【ご宴会】 *ご宴会後解散 18:45 20:45 二次会等各自お楽しみください。 *ホテルへ行かれる方はご案内いたします。 ご宿泊ホテル:浅草ビューホテル【シングルご利用】 <ホテルご出発は皆様一緒に>	× 昼 夕
9/16 (水)	【ゴルフ組】 *3組予約 10:06・12分・18分スタート ホテル <— 高速道 —> 霞が関カンツリークラブ 7:45 9:15 16:30 *観光組と合流 【観光組】 ホテル <— 高速道 —> 霞が関カンツリークラブ 7:45 9:15 ゴルフ組下車後長瀬へご出発 *ライン下りは 11:00 屋敷後宝登山散策など 長瀬ライン下りとご昼食 <— ゴルフ場 —> 10:30 15:30 16:30 *ゴルフ組と合流 *途中休憩をとりながら <— 高速道 —> *車中お弁当をご用意いたします <— 三条 —> 20:30頃 ☆お疲れ様でした！	朝 昼 夕

*発着時間は状況に応じて変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

*凡例:バス—— 徒歩……

職業奉仕委員会 岡田大介委員長

9月15日16日の職場見学旅行には、22名（ゴルフのみ2名）のご参加を頂きました。



初日、日銀見学と大相撲観戦。

二日目は、長瀬ライン下りと名門霞ヶ関観カンツリークラブでのゴルフと二組に分かれそれぞれお楽しみいただきました。

ゴルフ場の手配には、湊岡茂会員より格段のご尽力頂きました。お陰でゴルフ同好会のマナーアップが飛躍的に計れたようです。優勝された武田恒夫会員におかれましては、3年間のスランプから脱出！心よりお祝い申し上げます。

長瀬ライン下りは前日まで大雨の影響

で休止しておりましたが、運良く再開。迫力ある船旅を楽しんでまいりました。宝登山神社参詣の折には石黒会員が名物「秩父おなめ」を嬉しそうに求めておられました。さらに北ロータリーの絆が深まった二日間でした。

日本銀行（その機能と組織）より転載

お札(日本銀行券)の発行・流通・管理
 日本銀行はわが国唯一の「発券銀行」として お札(日本銀行券)の発行・流通・管理に関する仕事を行っています

お札の種類
 本銀行は、現在、一万円券、五千円券、二千円券、千円券の4種類のお札を発行しています。

お札の発行
 お札は、国立印刷局で製造されています。製造されたお札は、日本銀行が引き取り、本店や支店の金庫に保管します。その後、お札は日本銀行の窓口から、金融機関を通じて世の中に送り出されます。ちなみに、硬貨(貨幣)は日本銀行ではなく国(財務省)が発行しています。

お札の流通
 の中に送り出されたお札は、個人・企業などによりさまざまな目的に利用された後、再び金融機関を経て日本銀行に戻ります。このように、日本銀行や金融機関は、お札が全国各地にうまく行き渡るようにするための流通拠点としての役割を果たしています。また、日本銀行は、災害などの緊急時にもお札が円滑に供給できるよう努力しています。

お札の管理
 本銀行に戻ってきたお札に対して、真偽鑑定や損傷判定の検査が行われます(これを「鑑査」といいます)。鑑査の結果、再度流通するのに適さないお札は廃棄される一方、流通に適するお札は、新しいお札とともに再び日本銀行の窓口から世の中に送り出されます。ちなみに、お札の平均寿命は、使用頻度の高い五千円券・千円券で1~2年程度、一万円券で4~5年程度です。

現金運用部の検査センターでは、金融機関と各店舗のお札の発行数量や廃棄数量に関する事務処理の大部分が自動化し、負担が軽減されています

お札の一生

お札の発行・流通・管理のフローチャート。日本銀行が紙幣を印刷し、金融機関や個人・企業などに供給する過程を示しています。

主な偽造防止技術 (一万円券の例)

- ホログラム: 紙幣の表面に様々な角度から異なる図柄が浮かび上がる技術。
- 紫外線: パールイオンによる紫外線照射時の発光現象。
- 凹版印刷: 紙幣の表面に凹凸が感じられる印刷技術。
- マイクログラフ: 紙幣の表面に非常に小さな文字や図柄を印刷する技術。
- 特殊光線インキ: 紫外線照射時に特定の光を発するインキ。

個人のお札の引き換え基準

業務終了後のお札の引き換え基準。紙幣の状態や種類によって引き換えの有無や条件が異なります。

日本銀行では、本支店に持ち込まれた個人のお札を鑑査し、きれいなお札に引き換えています。
 (写真は日本銀行大阪支店の引換え作業の様子)

物価の安定と金融政策

日本銀行は、国民生活の安定や経済の持続的な発展のために、金融政策を通じて物価の安定に努めています



物価の安定とは

物価とは、さまざまなモノやサービスの価格を全体として捉えたものです。物価の安定とは、家計や企業などが物価水準の変動に慣れられることなく、消費や投資などの経済活動を行うことができる状態のことです。市場経済においては、家計や企業などは、モノやサービスの価格を手がかりにして、消費や投資を行うかどうかを決めています。このため、物価が大きく変動すると、家計や企業などがこうした判断を適切に行うことが難しくなります。また、物価の変動が一方に傾いている場合、さらに問題が生じることがあります。例えば、物価が下がりが続ける場合（デフレーション＜デフレ＞と言います）、企業の収益や雇用の資金が圧迫され、設備投資や消費などの経済活動が落ち込み、その結果、さらに物価が下がるという悪循環に陥ることがあります。このように考えると、物価の安定は、さまざまな経済活動、ひいては国民生活の基礎であると言えます。



消費者物価指数と「物価安定の目標」

消費者物価指数
物価の変動をみる指標としては、家計が消費する財・サービスを幅広くカバーした「消費者物価指数」や、企業間で取引される財・サービスの価格を対象とした「企業物価指数」、「企業向けサービス物価指数」などがあります。中でも、国民の実感に即した指標であり、実態性も高まっている「消費者物価指数」は、物価の変動をみるうえで重要な指標となります。

「物価安定の目標」
日本銀行は、2013年1月、デフレからの早期脱却と物価安定のもとでの持続的な経済成長の実現に向けて、「物価安定の目標」を新たに導入しました。これは、日本銀行として持続可能な物価の安定と整合的に判断する物価上昇率を示したものです。導入に際して、「物価安定の目標」は、消費者物価の前年比上年率で2%としました。

金融政策とは

日本銀行では、物価の安定を図ることを通じて国民経済の健全発展に資することを理念として、金融政策を運営しています。

通常、金融政策は、公開市場操作（オペレーション）などの手段を用いて、短期金融市場金利を誘導することにより行います。

例えば、景気が悪くなってモノやサービスの売れ行きが落ち、物価を押し下げる圧力が強まる場合には、短期金融市場の金利を引き下げるよう誘導します。そうすると、金融機関が企業や個人などにお金を貸し出す際の金利も下がります。このため、企業の設備投資や個人の住宅購入などが刺激され、景気・物価に上向きの力が働きます。

また、逆に、景気が過熱し、物価を押し上げる圧力が強まる場合には、短期金融市場金利を引き上げるよう誘導します。そうすると、上記とは逆の流れで、景気・物価を抑制する力が働きます。

このほか、状況に応じて、日本銀行が世の中に直接的に供給するお金（日本銀行当座預金＜金融機関が日本銀行に保有している当座預金＞、日本銀行発行高および貨幣流通高の合計額、マネタリーベースと言います）の量を目標値を定めて、それをコントロールしたり、より長めの市場金利に働きかけることなどを通じて、金融政策を行うこともあります。

オペレーション（公開市場操作）

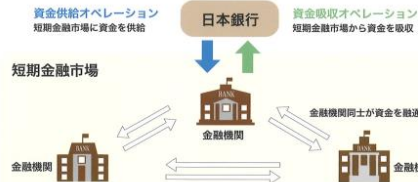
公開市場操作（オペレーション）は、日本銀行における金融市場調節の主な手段です。日本銀行は、金融機関に対する貸出を増減させたり、金融機関との間で国債などの金融資産の売買を行うなどして、日本銀行における金融機関の当座預金を増減させ、短期金融市場におけるお金の量を調節しています。

金融機関が保有している国債などの資産を、日本銀行が金融機関から購入すると、短期金融市場に資金が供給されます（資金供給オペレーション）。逆に、日本銀行が保有している国債などの資産を、金融機関に売却すると、短期金融市場の資金が吸収されることとなります（資金吸収オペレーション）。



適切なオペレーションを行うため、市場参加者との意見交換を必要に応じて行っているほか、国内外の金融市場を日々注意深くモニタリングしています。

オペレーションの仕組み



決済と金融システムの安定

日本銀行は、お金の受け払い（決済）や貸し借りを安心して行えるようにすること（＝金融システムの安定）に取り組んでいます



決済と日本銀行の役割

私たちは日々の生活で、買い物のために現金を使ったり、銀行振り込みや口座引き落としなどを利用したりしています。このようにお金の引き換えにモノやサービスの受け渡しを行うことを「決済」といいます。最終的には、金融機関同士のつながりの中で行われています。お札は「決済」の手段として広く使われていますが、金融機関が日本銀行に預けている日銀当座預金も、金融機関同士の決済や日本銀行と金融機関の決済を行うための重要な手段です。

効率的で安全な「決済」の仕組み（決済システム）は、経済の大事な基礎であり、災害などの緊急時にもこうした仕組みが維持されることが重要です。

金融システムの安定とは

私たちは、金融機関やコンビニエンスストアなどにあるATM（現金自動預け払い機）で現金を引き出したり預けたりすることができます。しかし、金融機関が破綻したり、ATMがダウンして現金が返ってこなかったり、お金の受け払いができなくなれば、日常生活に重大な影響が及びます。私たちが決済を行ったり、お金を預金したり、借り入れたりといったお金のやりとりの仕組み全体を「金融システム」といいます。「金融システムの安定」とは、こうしたお金のやりとりが、効率的かつ安全に行われる状態を指します。



「日銀ネット」とは

「日銀ネット」とは、日本銀行の本支店と金融機関を結ぶコンピュータネットワーク・システムのことです。お金の決済の効率化や資金としての役割を担っています。日銀ネットに参加している金融機関は、オンラインでの金融機関同士の資金決済を行うことができ、毎日100兆円を超える日額の決済が日銀ネットで行われています。



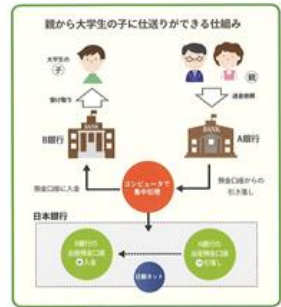
東京銀行のコンピュータセンター。さまざまなシステムやネットワークにより、日銀ネットの運用管理を行っています。

金融システムの安定のために

日本銀行は、この金融システムの安定のために、さまざまな業務を行っています。

●決済手段の提供

お札の発行・流通・管理のほか、金融機関から預金（日本銀行当座預金）を預かり、これらの預金を通じて金融機関同士のお金のやりとりを行うサービスを提供することで、効率的で安全な決済が行われるように努めています。このように、日本銀行はお札や当座預金といった決済手段を提供することを通じて、決済システムや金融システムの安定に貢献しています。



●金融機関の経営実態の把握

日本銀行当座預金を持つ金融機関に直接対向して立ち入り調査（審査）を行ったり、金融機関と日頃から緊密に連絡を取り合い、ヒアリング（聞き取り）や経営分析を行ったり（オフサイト・モニタリング）して、金融システムの参加者である個々の金融機関の経営実態の把握に努めています。

また、審査やオフサイト・モニタリングを通じて得られた個々の金融機関の情報や、金融機関同士が取引を行う金融市場の情報などを利用しながら、金融システム全体のリスクに関する分析や評価を行っています。



当座預金取引先である金融機関に対し定期的にヒアリングを行っています。

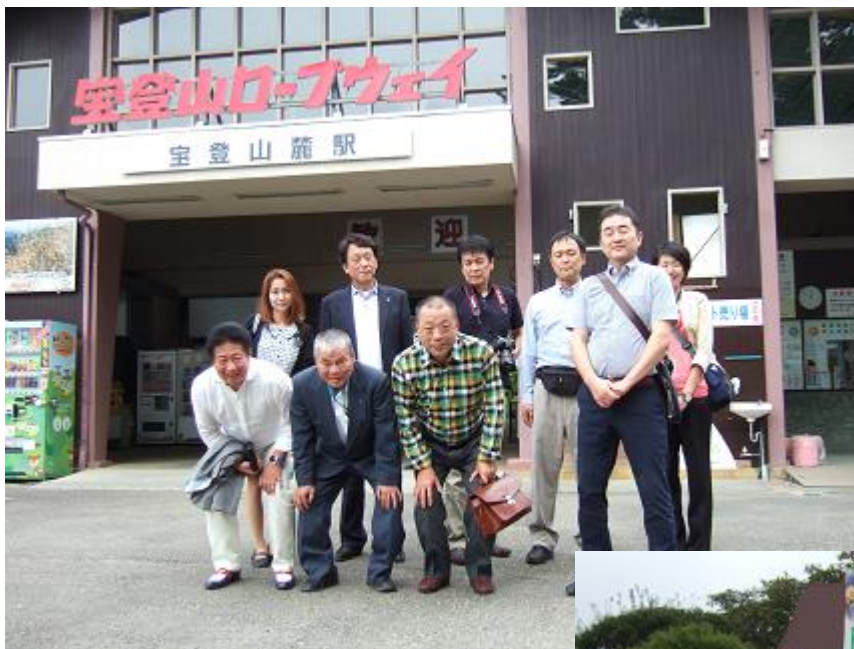
●「最後の貸し手機能」

もし、ある金融機関の支払いが行えなくなり、それが他の金融機関に悪い影響を及ぼすような危険が予想される場合には、そうした事態を防ぐために貸出を行う場合もあります。これを、中央銀行の「最後の貸し手機能」といいます。



昭和金融恐慌（1927年）では、幾つもの銀行に対して貸金者が押寄せた「取り付け騒ぎ」が発生しました（写真：徳田重雄）







10月の行事予定 (第4分区内RC)

日	月	火	水	木	金	土
				1 三条東RC G補佐事前訪問 燕RC 奨学生スピーチ 加茂RC 外部卓話	2 吉田RC 通常例会	3
4	5 三条南RC 米山月間 米山奨学生 レジェスメンデス ホセ ルイス君	6 三条北RC 卓話 下村啓治会員	7 三条RC 米山月間 米山奨学生 アイヌル アラファさん	8 三条東RC 米山月間 燕RC 外部卓話 加茂RC 外部卓話	9 吉田RC 通常例会	10
11	12 体育の日	13 三条北RC 米山月間 RI第2560地区 米山奨学生選考 委員長 宇尾野 隆 様	14 三条RC 職場例会 12:30～ 於:保内公園	15 三条東RC 例会振り替え 燕RC 会員卓話 加茂RC G補佐事前訪問	16 吉田RC 夜例会 19:00～ 千ぐさ	17 三条市内4RC C合同公開例 会 蓮池薫氏 講演会
18	19 三条南RC 例会日振り替え 17日市内4RC合 同公開例会	20 三条北RC 例会日振り替え 17日市内4RC合 同公開例会	21 三条RC 新会員卓話 加賀美 匡会員	22 三条東RC 外部卓話 燕RC 外部卓話 加茂RC 夜例会	23 吉田RC 通常例会	24 ライラ研修 ①
25 ライラ研 修②	26 三条南RC 「経済と地域の発 展月間」 西瀧精一会員	27 三条北RC ライラ研修報告会	28 三条RC 地区大会出席振 り替え	29 三条東RC ガバナー公式訪問 燕RC クラブフォーラム 加茂RC 新会員卓話	30 吉田RC 通常例会 (会場変更)	31 会長幹事米 山財団委員 長会議 RI会長代理 歓迎晩餐会

★上記以外RC 火曜日 分水・田上あじさい 木曜日 見附・巻

お知らせ

記帳受付

14日(水) 三条RC (三条信用金庫本店)
 15日(水) 三条東RC (三条ロイヤルホテル)
 16日(金) 吉田RC (齋藤税務会計事務所)
 19日(月) 三条南RC (三条信用金庫本店)
 20日(火) 三条北RC (三条ロイヤルホテル)
 22日(木) 加茂RC (加茂市産業センター)
 28日(水) 三条RC (三条信用金庫本店)
 29日(木) 三条東RC (三条ロイヤルホテル)

11月1日(日) 地区大会
 2016年4月16日(土) 三条北RC30周年記念式典

